

つながろう日本



Human Interface 2011 SENDAI

ヒューマンインタフェースシンポジウム 2011

会場：仙台国際センター

9/13火 - 9/16金

<http://www.his.gr.jp/>

協賛企業・団体：仙台観光コンベンション協会、日本人間工学会、青葉工学会
主催：ヒューマンインタフェース学会

Be Positive!

大会長 北村 正晴 (東北大学)

ノーベル化学賞を受賞された根岸栄一先生が、「永遠の楽観主義を持って研究する姿勢が大切だ」と若い世代への期待を語っておられることが報じられている。心からの共感を覚える発言である。研究者、技術開発者にとっては楽観主義の姿勢が基本であろう。

ひるがえって現在の我が国の状況を見れば、様々な課題に関する悲観的な論調を多く見聞きする。エネルギー、食糧、水、ICT、教育、金融、国際政治、国内政治などあらゆる領域でネガティブな現状認識と展望が語られている。

ネガティブな認識や展望が主流に見える現代において、Human Interface 学会の果たしうる役割は極めて大きい。本学会会員の皆様が、優れた研究能力と卓越した楽観主義を駆動力として、現代の重要課題を解決しポジティブな展望を切り拓くひとつの機縁として、HI 学会 2011 年度大会が、機能することを心から期待する次第である。

特別講演 - POSITIVE に生きる！

加齢と障害への新しい視点！ Live your life positively!

■特別講演 1 川島隆太 教授

Positiveに老いる - スマートエイジング研究の展開 -

■特別講演 2 半田康延 教授

Positiveに障害に向き合う - 足漕ぎ車椅子による歩行障害の克服 -